令和６年度

きよせ進路キャリアだよりNo.1

令和６年１１月２９日発行
東京都立清瀬特別支援学校
校長　稗田　知子
進路・キャリア教育部

10 月 23 日(水)に保護者対象の進路学習会を実施いたしました。今年度は学習会を二部構成で企画し、第一部では、東京都立東久留米特別支援学校特別支援教育コーディネーター清水由起子先生に「東京都立東久留米特別支援学校普通科における進路指導の取組」について、第二部では、社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会相談支援センターひだまり職員西村純子様に「相談支援事業所の役割及び高等部卒業後に利用できるサービス等」について、御講演いただきました。

＜都立東久留米特別支援学校普通科における進路指導の取組について＞

都立東久留米特別支援学校普通科の教育課程（授業）や高等部の特色について御講演いただきました。以下、概要を記載します。

普通科の教育課程には「職業」「作業学習」の授業があり、進路指導が行われます。自分自身を知り、将来の仕事や生活について考え、作業学習を通して、働く力やマナーを身に付けていきます。1 年生では現場見学やミニ体験実習を行い、職業について情報収集や選択を目的としたインターンシップを行います。2 年生からは複数の事業所での現場実習が始まります。実際に体験し、自分に合った事業所を探し、選択していきます。高等部は社会に出る準備をする場でもあり、自己理解を深め、働くための体力づくりや生活を豊かにするために、余暇の過ごし方を学ぶことが大切です。また積極的に、本人や保護者が仕事や福祉サービスについて情報を収集していくことが求められます。

将来を見据え、今から挑戦してほしいこととして、①誰と、どこででも安定した気持ちで生活できるように積極的にショートステイを利用したり、ヘルパーと外出したりする機会をつくること。②支援グッズを活用するなどして、意思表示方法の確立を目指すこと。③公共交通機関を利用する経験を増やすこと。④お手伝いを通して仕事への責任感を育むことの４点を挙げられていました。

＜相談支援事業所の役割及び高等部卒業後に利用できるサービス等について＞

相談支援の役割と相談支援事業、実際の支援について事例をあげて御講演いただきました。以下、概要を記載します。

相談支援の役割は生活全般の相談を受け、本人の意向を確認し、望む生活ができるように必要なサービスや専門機関を提案し、つなげていくことです。学齢期に利用できるサービスとして、放課後等デイサービス、居宅介護、短期入所（ショートステイ）、移動支援などがあり、将来に向けて早期から利用できる社会資源を知り、活用していくことが大切です。例えば高等部進学や卒業後に向けて、公共交通機

関を一人で使うことができるように、移動支援を利用して練習することもできます。家族の病気や出産、レスパイト、冠婚葬祭時などにすぐに支援を受けられるように、短期入所を経験しておくことも大切です。また、卒業後は放課後等デイサービスを受けられなくなるため、仕事を終えた後の夕方の過ごし方を考えておく必要もあります。また、将来の暮らし方として、グループホームやシェアハウス、一人暮らしや施設入所などの選択肢がありますが、どんな環境や暮らし方が本人に合うのか、短期入所を経験することでわかることもあります。さらに、日中一時支援や短期入所、移動支援を利用して、自立に向けた経験を積むことや、障害年金や区分判定に医師の意見書が必要なため、主治医がいることも大切です。幼少期のエピソードの記録を取っておくと申請時に役立ちます。

学齢期にしてほしいこととして、①好きなこと、楽しめることを見つける。②いろいろな経験を重ねる。③家族以外に本人をよく知る支援者を見つける。④選択する機会を増やす。（自分で決める力を伸ばす。）⑤本人の成長や状態に合った環境を考えるの５つが挙げられました。

本人や家族が信頼（相談）できる応援団（支援者）を増やしていくことが大切です。誰でも経験がない中で、判断、選択することは難しいので、自分で選ぶ機会を増やして経験することが大切です。将来、大きな意思決定が必要となった時に、自分で選択できるように、周囲にそれを伝えられるように、本人が望む生活を送ることができるように、いろいろな経験をして、生活の中で選ぶ機会を増やしていってほしいと思います。

講演後の質疑応答の時間に「短期入所先など、情報をどのように得たらよいか」という質問には、居住地、市区町村の障害福祉課で情報を得ることや、サービス等利用計画（障害児利用計画）を作成するために相談支援と連携することが大切であるなどのアドバイスをいただきました。

進路学習会終了後のアンケートには「高等部とその先の話が、流れとして想像しやすかった。」「まだ先のことだと思っていたが、知っていると知らないとでは、これからの気持ちと行動が変わると思った。」「事業所との相談や施設利用の大切さを再認識した。」という感想が寄せられました。

児童・生徒の皆さんが望む「将来につながる今をどう過ごしていくのか」、あらためて学び、考えることができた学習会になりました。御講演いただきました講師の清水由起子先生、西村純子様、そして学習会に御参加いただきました保護者の皆様に感謝を申し上げます。